

那須塩原市指定文化財の新規指定について

概要

市教育委員会では、令和6年2月7日付けで新たに2件の市指定文化財を指定しました。今回の指定で、市指定文化財は総数161件になり、国指定（登録文化財を含む）・県指定を含めた指定文化財総数は180件になりました。

■新規市指定文化財の紹介

【旧青木家那須別邸の杉並木】

杉並木は旧青木家那須別邸の正面から、約240mにわたり、合計139本のスギやヒノキ等の樹木によって構成されている。

別邸の建築と合わせて整備されたとすると、樹齢は140～150年ほどであると推定され、青木周蔵が別邸に来る際に、黒磯駅から馬車で走り抜けたという往時の様子を容易に想起させる並木である。別邸と一体となった並木の景観は、明治期の華族農場の趣を現在に伝える文化遺産として重要である。

区 分：記念物

種 別：史跡

所在地：那須塩原市青木27番2496

員 数：1か所



【旧青木家那須別邸のアスナロ】

旧青木家那須別邸裏手にある2本のアスナロは、別邸が現在の位置に復元される以前は、建物正面の別邸へと向かう杉並木の終点に位置しており、門柱のような役目を負っていたと考えられる。

成木は尖った円錐状になるのが一般的だが、このアスナロは根本から複数の枝が広がっており、大変珍しい樹形である。

区 分：記念物

種 別：天然記念物

所在地：那須塩原市青木29番2

員 数：2本

